

光市医師会報

No.452

(令和3年 秋号)



(普賢寺)

光市医師会

<http://www.yamaguchi.med.or.jp/users/hikarishi/isikaihp/hikari.htm>

目 次

光市医師会報 No. 452 (令和3年 秋号)

1. 表紙	
2. 学術講演会	1
令和3年度第3回学術講演会	
令和3年度第4回学術講演会	
令和3年度第5回学術講演会	
令和3年度第6回学術講演会	
3. 理事会報告	6
4. 月例会報告	17
5. 新入会員紹介	18
6. 会員の異動	18
7. これからの行事予定	19
8. 休日診療所	19
9. 緑友会	20

令和3年度 第3回 光市医師会学術講演会

2021年6月22日(火)

19:00~20:00

光商工会館2階 大会議室

特別講演 19:00 ~ 20:00

「始めよう！」

内科医だからできる骨粗鬆症診療
～患者さんを寝たきりにしないために～



座長 光市立光総合病院 整形外科部長兼
リハビリテーション科
部長 土田 聖司 先生



演者 かなざわ内科 糖尿病・
骨粗しょう症クリニック
院長 金沢 一平 先生

大腿骨近位部骨折の患者は40%は骨折前
の歩行状態には戻れず

椎体骨折及び大腿骨近位部骨折は死亡リス
クが特に高くなる

骨粗鬆症推定患者数は1280万人で治療
患者数は200万人

骨粗鬆症の定義は「骨強度の低下を特徴と
し骨折のリスクが増大しやすくなる骨格疾
患」となる。骨強度とは骨密度と骨質より
決まる。骨粗鬆症の主な原因は加齢、閉
経、遺伝である。これらの原因にやせ、不
動、喫煙、飲酒習慣、薬剤、Ca、Vit-D不
足などのリスク因子が加わり発症しやすく
なる。原発性骨粗鬆症の薬物開始基準は骨
折既往、骨密度、FRAX 家族歴により規程
される。骨折を予測するには、脆弱性骨折
の既往が重要、脆弱性骨折とは軽微な外力
によって発生した非外傷性骨折と定義され
る。骨折の部位としては若年者では、手首
が多く、年齢と共に脊椎、腕、大腿骨骨折
の頻度が上昇する。

骨密度に関してはYAMが診断基準に用い
られる。骨密度の測定方法はDXA、MD法
超音波法があるが超音波法はスクリーニン
グには有用であるが誤差が大きく診断モニ
タリングには用いられない。MD法も誤差
が大きく診断には用いられるがモニタリン
グには不向きである。FRAXはWHOのワー
キンググループにより作成された今後10
年間の骨折確率を簡単に計算できるツール
でありインターネット上に公開されている。

年齢、骨折歴、服薬、骨密度等を入力す
ると自動的に算出され15%以上で骨折リス
クが高いとされている。骨粗鬆症、骨折
の予防、治療に関しては食事、運動、薬
物治療となるが、食事に関してはCa摂

液 pH では主に尿酸と尿酸塩の形で存在する。pH 5.75 で尿酸と尿酸塩は等濃度で存在し pH 5.75 以下で尿酸が pH 5.75 以上で尿酸塩の存在率が上昇する。血清中の尿酸塩の溶解度は 37℃ で 7.0mg/dl である。血液、尿、関節液で尿酸や尿酸塩が析出すると痛風を惹起する。尿が酸化した状態 (pH 5.75 以下) では尿酸自体が結晶化する。(尿管尿酸結石)

尿がアルカリ化した状態では、pH 7.0 で 150~200mg/dl もの尿酸を溶解できる。

したがって尿がアルカリ化した状態であれば、尿酸の析出を抑制し、水に溶解しやすい尿酸塩を存在させることになり、尿管結石の予防になる。尿酸値には明け方に高く、夕方に低くなる日内変動がある。(約 0.5mg/dl) 人は尿酸分解酵素を持たないため、産生過剰、腎排泄低下、その混合にて高尿酸血症を呈する。日本人の高尿酸血症患者は成人の 21.5% ~ 26.2% (約 500 万人) 高尿酸血症の有病率は成人男性の 30%、女性の有病率は 50 歳未満 1.3%、50 歳以上 3.7% 女性はエストロゲンが天然の尿酸排泄促進剤として働いているため、高尿酸血症を起こしにくい。50 歳以上でも男性より割合が低い理由はエストロゲンのレガシーエフェクトの可能性があるかもしれない。我が国における痛風患者数は約 90 万人以上 (2004 年) で痛風患者数は 30 ~ 40 歳代にピークがある。

高尿酸血症とは尿酸塩沈着症の病因であり、血清尿酸値が 7.0mg/dl を超えるものと定義する。高尿酸血症は産生過剰型 (約 10%) 排泄低下型 (約 60%) 混合型 (約 30%) に分類される。高尿酸血症の治療方針としては、7.0mg/dl 以上は高尿酸血症で 8.0mg/dl 以上で他に合併症があれば

治療開始、9.0mg/dl 以上であれば速やかに治療開始し 6.0mg/dl 以下を目標にする。高尿酸血症治療薬の作用機序は尿細管再吸収抑制型と尿酸合成阻害型がある。高尿酸血症は冠危険因子としてかなり疑わしいが今のところ十分なエビデンスはない。尿酸自体は抗酸化物質である可能性が高いが過剰な尿酸は体にとっては有害 6.0mg/dl 異常は必要ない。キサンチンオキシダーゼは活性酸素産生源で有害。

尿酸による抗酸化メカニズムとしては、尿酸が活性酸素を補足して働きをなくす。活性酸素は SOD で分解されるが、尿酸は SOD の分解を抑える。ビタミン C が働くときは Fe が必要であるが、尿酸は鉄と複合体を生成しキレート作用を及ぼしている。血管内皮は人体最大の内分泌器官である。NO やプロスタサイクリンなどの拡張物質や活性酸素やエンドセリンなどの収縮物質をバランスよく分泌している。動脈硬化は血管内皮細胞障害により発症し、粥腫が破れることで脳卒中、心筋梗塞がみられる。血管内皮障害の stop or reverse は臨床上重要である。生活習慣の改善、薬物療法、血管内治療で血管内皮障害を改善することができる。

現在高尿酸血症と血管内皮機能に関するデータはほとんどない。血管内皮障害において酸化ストレスが重要である。尿酸が上がっているとき酸化ストレスも同様の程度であがっていると考えてよい。

体内での活性酸素の発生源は、NADH/NADPH Oxidase、Uncoupled eNOS、Xanthine Oxidase である。NADPH オキシターゼは腎血管性高血圧の患者では活性されており活性酸素も発生し血管機能も悪くなっている。慢性肉芽腫症患者 (NADPH 欠損症) では活性酸素がでない

ため血管機能が良いが、9歳頃までに脳炎、肺炎等の感染症で亡くなることが多かった。Bach1/HO-1 systemの破綻により悪性貧血が起こる。悪性貧血ではビリルビンが産生される。ビリルビンは抗酸化、抗炎症作用をもっている。体質性黄疸であるGilbert症候群では予後良好である。Gilbert症候群では間接ビリルビンがたまるが、間接ビリルビンは非常に高い抗酸化、抗炎症作用を持っている。ビリルビンの値が高ければ高いほど血管機能が良い。ApoE ノックアウトマウスの大動脈では大動脈解離、大動脈硬化がみられる。マクロファージ、キサンチンオキシダーゼが動脈硬化の見られる箇所が存在した。脳卒中中の患者では尿酸が高まるほどPWVは上昇傾向、アセチルコリン反応性が低い。メタボリック症候群でない人は尿酸7以上で血管内皮機能が落ちていく、メタボリック症候群の人は尿酸値8以上で血管内皮機能がおちる。これが交絡因子として他の危険因子と一緒に尿酸を見ることの難しさである。FMD-Jデータで、尿酸がBMI、血圧、腎機能(eGFR)などの動脈硬化因子と相関をもつ。女性は高尿酸血症の割合が低い。閉経後女性で尿酸6以上では血管内皮機能が悪い。キサンチンオキシダーゼによりNOと活性酸素が発生する。これによりNOのトラップ、ペルオキシナイトライドの発生により血管障害がおこる。生体では証明されていないが、細胞では尿酸値が6以上でURATv1により尿酸がとりこまれ炎症、酸化ストレスが起き血管内皮機能障害が起こる。高尿酸血症の治療薬は再吸収阻害薬、キサンチンオキシダーゼ阻害薬がある。薬物治療、補充療法、生活習慣改善で内皮機能改善が起き循環器合併症発症予防となる。高尿酸血症治療薬も血管内皮

機能改善薬といえる。高尿酸血症の病型分類が変わってきている。腎外排泄低下型などが存在し、単純な分類ではなくなっている。血管内皮機能の面からみると尿酸値は6以下が望ましい。尿酸においてもEven Earlier、Even Lower、Even Betterの考えが重要。尿酸は動脈硬化での介入ポイントである。高尿酸血症の薬には抗動脈硬化作用として血管内皮機能改善、酸化ストレス抑制、血栓抑制(PAI-1低下)、抗炎症作用、ROCK活性抑制の期待がある。

令和3年度 第5回
光市医師会学術講演会

2021年9月28日(火)

19:00~20:00

光商工会館2階 大会議室

特別講演 19:00 ~ 20:00

「腎臓内科医からみた糖尿病治療

～アンチエイジングを目指して～」

座長 いのうえ内科クリニック

院長 井上 祐介 先生

演者 埼玉草加病院 腎臓内科

外来医長 高取 優二 先生

令和3年度 第6回
光市医師会学術講演会

2021年10月26日(火)

19:00~20:00

光商工会館2階 大会議室

特別講演 19:00 ~ 20:00

「心房細動と心不全

ーカテーテルアブレーションの役割ー」

座長 光市立光総合病院 循環器内科

部長 中村 安真 先生

演者 徳山中央病院 循環器内科

部長 平塚 淳史 先生



理事会報告

令和3年7月光市医師会定例理事会

日時 令和3年7月13日（火）午後7時より午後7時30分

場所 光医師会事務局

出席 広田修会長 井上祐介副会長 吉村将之理事 前田一彦理事
田村健司理事 谷川幸治理事 守友康則理事 山手智夫理事
北川博之理事 藤田敏明監事 竹中博昭監事

I 報告事項

1 第189回山口県医師会定例代議会（6/17）（広田会長 井上副会長）

（1）令和2年度事業報告 抜粋

①生涯教育

第103回山口県医学会総会 長門市医師会引き受け 記念誌を発行
生涯教育セミナー 3回開催
専門医共通講習（医療倫理）の単位を取得できる講演会を開催
指導医のための教育ワークショップは事業廃止
日医かかりつけ医機能研修会 応用研修会を開催
山口県医学会誌 第55号発行

②医療介護保険

オンライン、電話診療周知を行った
郡市介護保険担当理事、ケアマネ、訪問看護師との合同協議会、及び
郡市介護保険担当理事協議会を開催
個別指導に郡市、及び県医師会の保険担当理事が立ち会いを行った

③地域医療

地域医療介護総合確保基金の予算確保に努めた
郡市救急医療担当理事協議会を開催し、COVID-19 流行下における
救急医療体制の確保に向けた情報提供、意見交換を行った
郡市小児救急医療担当理事協議会開催
警察医会総会を開催
各郡市医師会、病院単位による JMAT チーム事前登録（26 チーム 194 人）
JMAT やまぐちのマニュアル等を作成
地域包括ケアシステムの取り組みに助成

④地域保健

広域予防接種につき合同協議会を開催
令和2年10月からロタウイルスワクチンが定期接種に追加

HPV ワクチン接種対象者への情報提供、及び接種年齢を過ぎた方への
経済的補助を県及び市町へ要望し、ポスター 7、リーフレットを作成
「学校医の手引き」の改訂作業、「学校医活動記録手帳」を作成
保険者や決済代行機関（支払基金、国保連合会）の出席の元で郡市医師会
特定健診、特定保健指導担当理事協議会及び関係者合同協議会を開催
「花粉症」をテーマに健康教育テキストを発行
「喫煙や禁煙指導等に関するアンケートを実施」
COVID-19 に対して迅速な情報提供を行った
4 月 26 日に県知事と県医師会長による共同アピールを行った
インフルエンザ流行期に備えて体制整備を行った

⑤広報、情報

山口県医師会報 発行 COVID-19 の特集記事を掲載
花粉情報を県へ提供

⑥医事法制

令和 2 年度医療紛争発生受付件数 18 件（日医付託は 1 件）
令和 2 年「診療情報提供推進窓口」受付件数 53 件

⑦勤務医、女性医師対策

郡市医師会勤務医理事との懇談会を実施、オンラインで開催
「新型コロナウイルスと働き方改革」をテーマに座談会を開催
男女共同参画部会で 6 つのワーキンググループ
（勤務医環境問題、育児支援、女性医学生キャリアデザイン支援
地域連携、広報、介護支援）で活動

⑧医業について

医業の事業継承につき調査を施行
COVID-19 で休業、外来閉鎖を余儀なくされた場合の支援制度を創設

（2）議決事項

- i 令和 2 年度決算
 - ii 令和 4 年度 会員年会費
 - iii 令和 4 年度 県医師会入会金
 - iv 令和 4 年度 県医師会役員報酬
- 原案通り承認

2 令和 3 年度第 1 回山口県医師連盟執行委員会（6/17）（広田会長）

- 1) 日本医師連盟執行委員会
- 2) 令和 2 年度決算報告
- 3) 令和 3 年度 主要事業計画
今後の執行委員会の開催予定（第 2 回 10/21 第 3 回 2022/2/17）
知事への要望

医師連盟ニュースの発行
県連山口県環境福祉部会への陳情

- 4) 活動資金交付額提示
- 5) 衆、参議員選挙について

3 郡市救急医療担当理事協議会（7/8）（前田理事）

協議事項

1 令和2年度山口県救急搬送の状況について

新型コロナウイルスの影響で減少したと思われる
新型コロナウイルスの影響による搬送時間の遅れは認められなかった
ドクターヘリの出動件数も同様に減少した

2 救急現場における心肺蘇生を望まない傷病者への対応について

自宅での看取りの意思を固めていた患者が急変した際に、家族等が慌てて救急要請して、到着した救急隊が心肺蘇生（場合によっては挿管まで）をせざるを得ず、患者本人の意思に沿うことができないという問題に対し、昨年から協議されたフローチャートに従い運用の見直し
「運用の要件」

救急隊からかかりつけ医等へ連絡し、下記の項目を確認できた場合
心肺蘇生を中断しかかりつけ医等または家族等に傷病者を引き継ぐ

- ① アドバンス、ケア、プランニング（愛称 人生会議）が行われている
成人で心肺停止状態であること
- ② 傷病者が人生の最終段階にあること
- ③ 傷病者本人が「心肺蘇生の実施を望まない」こと
- ④ 傷病者本人の意思決定に際し想定された症状と現在の症状が合致すること

3 新型コロナウイルスワクチン接種に関する救急搬送体制について

各地域とも重篤な副作用例はなく救急への負担は今の所発生していない模様
接種対象者の年齢が下がっていくとともに、副作用による影響が出てくること
が懸念される

4 J-MATやまぐちの災害医療研修会について

11月14日（日）にeラーニングなどを使った研修会を予定（詳細未定）

5 AED 訓練人形の貸し出しについて

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で貸し出し件数が減少したが
引き続きAEDトレーナーと訓練人形の無償貸し出し事業は継続

6 ACLS 普及啓発事業について

こちらも引き続きACLSシュミレーターのレンタル費用を
1医療機関当たり15万まで助成

以上を報告した。

II 協議・承認事項

1 職員夏季賞与について

2 入会会員

B 会員 吉川 真先生 大和総合病院 脳神経外科

3 光地区消防組合の産業医について

以上を協議・承認した。

令和3年8月光市医師会定例理事会

日時 令和3年8月10日（火） 午後7時より午後7時30分

場所 光医師会事務局

出席 広田修会長、 前田一彦理事 田村健司理事 谷川幸治理事
山手智夫理事 北川博之理事 藤田敏明監事 竹中博昭監事

欠席 井上祐介副会長 守友康則理事 吉村将之理事

I 報告事項

1 令和3年度光市健康づくり推進協議会（7/15）（広田会長、井上副会長）

（1）成人保健

①令和2年度がん検診

受診率 胃がん 4.6% ↓ 肺がん 7.8% ↓ 大腸がん 8.0% ↓

子宮頸がん 13.1% ↓ 乳がん 13.0% ↓ 前立腺がん 6.6% ↓

②骨粗鬆健診 40～70歳の5歳毎に実施

受診率 2.6% 要精検数 2人（3.3%）要指導数 19人（31.1%）

③健康教育、健康相談

健康教育：33回延べ675人（令和元年度54回延べ1357人）

健康相談288回延べ652人（令和元年度409回延べ1422人）

④光市健康づくり推進計画の推進

同計画の中間年のため「健康、食育に関する市民アンケート」を実施し
推進計画市民協議会を2回開催した

（2）母子保健

出生数：292人 ↓ 妊婦検診：前期 97.7% ↓ 後期 105.0% ↑

産婦健診：2週間健診 94.6% ↑ 1ヶ月健診 111.9% ↑

産後うつ傾向で指導につながったケースが42件

乳幼児健診

受診率 1ヶ月児 95.6%↓ 3カ月児 100.9%↑ 7ヶ月児 100.3%↓
1歳6カ月児 97.1%↓ 3歳児 102.1%↑

(3) 歯科保健：歯の健康相談、成人歯科健診、乳幼児及び保護者に歯科指導
良い歯のコンクール、口腔がん健診

(4) 予防接種

高齢者インフルエンザ 67.7%↑ 高齢者肺炎球菌 30.4%↓
HPV ワクチンは対象者 1095 人、接種者 112 人 接種率 10.2%↑
風疹 5 期 無料クーポン券送付者 4875 人 抗体検査受診者 925 人
抗体陰性者 210 人 接種者 205 人

(5) 組織との連携

母子保健推進協議会 母子保健推進員 53 名で訪問活動
乳幼児訪問 2646 件 (20 年度 7422 件)
妊産婦訪問 315 件 (20 年度 637 件)
食生活改善推進協議会 食生活改善推進員 80 名で構成
グループ活動 136 回 (20 年度 617 回)
訪問等活動 10619 回 (20 年度 12077 回)

(6) 救急医療体制 休日診療所運営協議会報告参照

牛島診療所 50 日開所 延べ 254 人受診 (5.1 人 / 日)

(7) 令和 3 年度光市保健衛生事業計画

今年度の重点施策 (抜粋)

自殺対策の推進、はじめて健診応援事業、COVID-19 対策、各種健診
予防接種の推進 光市健康づくり推進計画の推進
不妊・不育症治療費助成事業 口腔癌集団健診

(8) 健康づくりイベント

歯の無料健診と相談	6 月 14 日→中止
おっぱいまつり	8 月 2 日→中止
ふれあい健康フェスティバル	11 月 22 日

(9) その他

高齢者ワクチン接種 7 月 20 日時点で希望者の 9 割が終了予定
7 月 20 日以降、12 歳以上の全年齢層で予約受付開始

2 令和 3 年度光市休日診療所運営委員会 (7/15) (広田会長、井上副会長、前田理事)

①休日診療所運営状況についての報告

令和 2 年度は前年より歳入が約 1750 万円減
→新型コロナウイルス感染症による受診抑制のため
(1 日平均約 30 人 / 日→約 12 人 / 日 に減少)
→歳出は約 157 万円減 (医薬材料費が大きく減少)
→差額約 1600 万円の赤字

休日診療所から他院へ搬送された症例が2例（尿管結石）
 受診患者数は、令和2年度は例年と違い5月が最多
 令和3年度の6月までの利用状況も、受診抑制が継続している。
 車待機について、市民からの苦情はなし。

②周南地域救急医療利用状況について

周南3市における二次救急利用状況は、休日、夜間合わせて光市は10.5%
 （令和元年度10.3%）
 小児救急は、一次救急（周南こどもQQ）が休日・夜間合わせ光市12.3%
 （令和元年度10.2%）
 二次救急（徳山中央）は休日、夜間合わせ光市14.6%
 （令和元年度13%）

③令和2年度の救急業務実施状況

救急出動件数は2504件で前年（2611件）より減少
 ただし山口県平均より多い（人口1万人あたり 県448件 光487.5件）
 7割が高齢者で入院が必要な中等症の割合が多かった（不要、不急が減った？）
 高齢者は、一般負傷（ころぶ、落ちる、ものが詰まるなど）のうち
 転倒が74%を占める→転倒予防策が必要
 光市における救急医療電話相談（#7199：救急車を呼ぶべきか迷った時に
 医師か看護師に24時間相談できる）の利用状況は、令和元年7月（開始月）
 から変わらず月10件程度の状況が続き、利用者は増えていない。
 →今後も引き続き利用を推進していくとの事。

医師会 薬剤師会 事務局調整会議

①インフルエンザ流行期における新型コロナウイルス院内感染予防について
 昨年と同様の手順で、車待機またはテント待機が原則

②インフルエンザ診断書の発行について

昨年同様、インフルエンザ検査キットは使用しない
 →診察医の判断で作成を

3 新型コロナウイルスワクチン		中学校の集団接種結果報告		（広田会長）	
学校名	全生徒数	1回目接種者		2回目接種者	
室積	134	72	53.7%	70	52.2%
光井	180	83	46.1%	81	45.0%
浅江	394	164	41.6%	162	41.1%
島田	342	132	38.6%	129	37.7%
大和	111	59	53.2%	59	53.2%

附属光	260	123 47.3%	120 46.2%
合計	1421	633 44.5%	621 43.7%

4 小児救急医療担当理事協議会（書面開催）（山手理事）

山口県小児救急電話相談は全て専門業者で対応している

令和2年度は7202件であった

周南地区からの相談は1410件（19.6%）

5 退会会員

B会員 昼田 千裕 先生 日本製鉄（株）九州製鉄所 光診療所

以上を報告した。

II 協議・承認事項

1 日曜日の集団接種について

2 光市国民健康保険運営協議会委員の推薦について

3 入会会員

B会員 岩本 敬 先生 日本製鉄（株）九州製鉄所 光診療所

以上を協議・承認した。

令和3年9月光市医師会定例理事会

日時 令和3年9月14日（火）午後7時より午後7時30分

場所 光医師会事務局

出席 広田修会長 井上祐介副会長 前田一彦理事 田村健司理事 谷川幸治理事
守友康則理事 山手智夫理事 北川博之理事 藤田敏明監事

欠席 吉村将之理事 竹中博昭監事

I 報告事項

1 令和3年度光市自殺対策協議会（7/29）（広田会長）

光市自殺対策計画 光市の計画は令和2年度～6年度の5年計画

数値目標 自殺死亡率を30%減少させる。

自殺死亡率（自殺者数÷人口×100000）を9.2以下とする

ゲートキーパー研修受講者を2500人以上とする

①令和2年度自殺死亡率 光市 17.68（元年度 17.54）

山口県 16.28（元年度 14.46）

全国的にも2万1千人を超え、平成21年来の増加に転じており

COVID-19 による社会不安の高まりの影響が考えられる

②自殺対策ネットワークの構築について

事例の提供元は警察、役所関係から自治会長、近隣住民など民間まで幅広く寄せられている。

ケースに応じて自殺対策協議会から必要な者を構成員とする関係機関が繋がり、「生きることの包括支援」を図る

③ゲートキーパー研修

ゲートキーパー指導者養成研修は COVID-19 のため中止

ゲートキーパー研修受講者は 147 人 1591 人となった

令和 3 年度は教職員、介護支援専門員、母子保健推進員対象で開催

2 郡市医師会地域包括ケア担当理事協議会 (井上副会長)

議題

①県の在宅利用の現状と実態調査について

②県医師会地域包括ケア推進事業について

引き続き、1 郡市医師会あたり 50 万円を上限に事業費を全額助成する
郡市医師会は事業完了後、事業報告書の提出及び郡市担当理事会議において報告する。

③救急現場における心肺蘇生を望まない傷病者への対応について

3 周南地域メディカルコントロール協議会 (8/26) (前田理事)

議題

①人生の最終段階にある傷病者の意思に沿った救急現場での心配蘇生のあり方について

終末期の患者、家族、医師等の話し合い、いわゆる ACP (アドバンス、ケアプランニング：愛称「人生会議」) がなされ、自宅で看取りを希望されている方が何らかの手違いで救急要請された場合の対応に関する骨子が、本年 2 月 18 日の県メディカルコントロール協議会で承認された。救急隊がかかりつけ医に引き継ぐ場合、45 分以内にかかりつけ医が現場に到着できる場合は、救急隊が待機し直接引き継ぐ。

45 分の根拠 在宅医の往診料が保険診療として認められる 16 km を移動することを想定した時間

②救急車に医師が同乗しない場合の条件

下関、長門地域メディカルコントロール協議会が作成した取り決めが紹介された。光消防では、今のところそのような取り決めはない。

③ビデオ喉頭鏡講習の開催について

光総合病院 竹中先生が講師を務められ、ビデオ喉頭鏡講習会が開催される予定

④今年度の救急救命士再教育のポイント不足に対する対応について

昨年同様、救急救命士再教育要件（ポイント制）を満たすことができない救命士に対し、各消防本部において救急現場を想定したシュミレーション形式のトレーニングを実施し、これを修了することで今期の再教育要件を満たしたものとみなす。

4 光市の新型コロナウイルスワクチン接種状況 (広田会長)

基準日 9月12日

全体 1回目 38441人 (84.0%)

2回目 35079人 (76.6%)

65歳以上

1回目 16623人 (92.7%)

2回目 16431人 (91.6%)

64歳以下

1回目 21818人 (78.3%)

2回目 18648人 (67.0%)

以上を報告した。

II 協議、承認事項

1 ひかり医院 入会の件

以上を協議・承認した。

令和3年10月光市医師会定例理事会

日時 令和3年10月14日（火）午後7時00分より午後8時30分

場所 光市医師会事務局

出席 広田 修会長 井上祐介副会長 田村健司理事 谷川幸治理事 前田一彦理事
山手智夫理事 吉村将之理事 竹中博昭監事 藤田敏明監事

欠席 北川博之理事 守友康則理事

I 光市健康増進課との協議

II 報告事項

1 乳幼児・妊産婦保健担当理事協議会（書面開催） (北川理事)

令和2年度麻疹・風疹予防接種状況

光市 第1期 97.7% 第2期 97.1%

予防接種間違い報告

接種間隔の間違いが最多

期限切れワクチン接種は、動きの少ないワクチンでは特に注意が必要

対象年齢の確認を慎重に

各種健診、予防接種の料金は前年と変更なし

県への要望

生後2週間健診、1歳児健診の公費負担による実施を要望

2 令和3年度 郡市医師会特定健診・特定保健指導担当理事

および関係者合同会議(9/30)

(井上副会長)

① 令和2年度の実施結果について

国保特定健診実施率

県全体：元年度は30.6%、2年度は9月末時点で29.9%

光市：34.4% → 31.6% ↓

社保特定健診実施件数

令和2年度は元年度から5.9%減少したが、3年度5～7月は

1190件から1890件へ回復した

協会けんぽ

実施率 被保険者：67.3% (+4.3)、被扶養者：23.3% (-0.9)

後期高齢者医療広域連合

実施率 30.43% → 35.43%

② 各市町の取り組み

健診費用の自己負担無料化

AIを利用した年2回の受診勧奨

がん検診との同時実施 など

③ 後期高齢者広域連合の取り組み

受診券紛失にそなえ、封筒を厚手のケント紙に変更予定

3 令和3年度 下松地域産業保健センター運営協議会(10/9) (田村理事)

① 令和2年度事業報告 令和元年度より20%増加

専門的相談168(健康相談21、健康診断意見聴取140、長期間労働面接指導1
ストレスチェック面接指導1、個別訪問指導5、)

令和3年登録産業医実数14名

(下松市9名、光市3名、柳井1名、熊毛郡1名)

② 下松労働基準監督署

「産業医・産業保健機能」「長時間労働者に対する面接指導等」が強化されるに
あたっての3つの注意ポイント

- ・産業医に対する労働者の健康管理らに対する必要な情報の提供
- ・労働者からの健康相談に適切に対応するために必要な体制の整備等
- ・産業医等の業務の内容等の周知

③ 山口産業保健総合支援センター

コロナウィルスのために対面で行う専門的研修とセミナーの開催が困難であった。今後は産業保健関係者への Web セミナーを 20 回予定する。
オンラインによる医師の面接指導実施にあたって留意事項の説明があった。

以上を報告した

Ⅲ 協議・承認事項

- 1 「診療・検査医療機関」の公表について (広田会長)
各医療機関に公表の可否を確認し、県のサイトに掲載する
- 2 今後の新型コロナウイルスワクチン接種について (広田会長)
1 2 月から医療従事者向け接種を計画中
- 3 「心肺蘇生を望まない傷病者への救急現場での対応」について (前田理事)
 - ・本年 11 月 1 日より運用開始 対応の流れにつき図示の内容を確認
 - ・ご家族から救急隊に DNAR を提示しない限り救急隊は延命措置、医療機関に搬送を行う可能性が高いため、急変時は救急隊ではなく、まずかかりつけ医に連絡をする様にご家族に指導してほしい
- 4 市町の新年度予算に向けた要望について (広田会長)
 - ・HPV ワクチンの積極的勧奨中止中に接種が出来なかった対象者へのキャッチアップ接種
 - ・ムンプスワクチン接種の助成の推進など要望予定
- 5 忘年会について (吉村理事)
本年度は中止
- 6 光市医師会緊急連絡網について (広田会長)
ひかり医院を追加
連絡網の流れを理事・監事で確認

以上を協議・承認した

月例会報告

令和3年7月27日（火）

1. 新型コロナウイルスワクチンの現況について

令和3年10月26日（火）

1. 今後の新型コロナウイルスワクチンについて
2. 忘年会について



新入会員紹介

光市立大和総合病院 吉川 真

入会のご挨拶

令和3年6月1日より光市立大和総合病院脳神経外科に赴任いたしました吉川 真です。平成2年に熊本大学を卒業して、30年間熊本県の病院に勤務しておりましたが、地元である山口県に戻ってきました。山口県の地域医療に、微力ながら貢献できるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

入会会員

8月1日付

B 会員 日本製鉄（株）九州製鉄所光診療所 岩本 敬

異動会員

9月1日付

B 会員 みちがみ病院 → A 会員 ひかり医院 上田 一博

退会会員

7月31日付

B 会員 日本製鉄（株）九州製鉄所光診療所 昼田 千裕

☆ これからの行事予定 ☆

11月	9日(火)	理事会
	16日(火)	月例会
	28日(日)	周南医学会
12月	14日(火)	理事会
1月	11日(火)	理事会
	25日(火)	月例会
2月	8日(火)	理事会
	22日(火)	月例会

7月休日診療所当番医報告

7月		内科系	外科系	
	4(日)	7	4	1
	11(日)	9	8	17
	18(日)	2	1	3
	22(木)	27	11	38
	23(金)	11	14	25
	25(日)	3	6	9
	計	59	44	103

9月休日診療所当番医報告

9月		内科系	外科系	
	5(日)	3	2	5
	12(日)	1	2	3
	19(日)	10	6	16
	20(月)	5	9	14
	23(木)	4	2	6
	26(日)	9	11	20
	計	32	32	64

8月休日診療所当番医報告

8月		内科系	外科系	
	1(日)	9	4	13
	8(日)	9	11	20
	9(月)	9	9	18
	14(土)	2	16	18
	15(日)	12	7	19
	22(日)	6	6	12
	29(日)	4	5	9
	計	51	58	109

10月休日診療所当番医報告

10月		内科系	外科系	
	3(日)	9	2	11
	10(日)	3	4	7
	17(日)	3	5	8
	24(日)	9	1	10
	31(日)	6	3	9
	計	30	15	45

緑友会ゴルフコンペ成績

令和3年7月4日 周南カントリークラブ

順位	名 前	OUT	IN	GR	HDCP	NET
優勝	井上 亮	40	38	78	5	73
準優勝	吉川 真	51	62	113	36	77
3	小田 達郎	53	50	103	24	79
4	南 典文	51	49	100	19	81
5	宮本 寿太郎	50	45	95	12	83
6	森本 博士	47	43	90	4	86
7	横山 宏	46	49	95	8	87
8	兼清 照久	52	49	101	14	87
9	前田 昇一	51	51	102	14	88
10	兼清 信介	54	52	106	16	90
11	佃 浩一郎	53	51	104	14	90
12	守田 忠正	50	51	101	10	91
13	平田 万三志	54	54	108	16	92
14	國近 豊	60	52	112	16	96
15	兼清 光帆子	65	49	114	36	78

NP ②⑬井上 ⑰宮本 DC ⑧吉川 ⑮井上 ドラ短 兼清(照)

令和3年10月17日 周南カントリークラブ

順位	名 前	OUT	IN	GR	HDCP	NET
優勝	赤崎 信正	48	49	97	19	78
準優勝	吉川 真	53	62	115	36	79
3	宮本 寿太郎	44	50	94	12	82
4	前田 昇一	47	52	99	14	85
5	兼清 照久	47	53	100	14	86
6	森本 博士	47	44	91	4	87
7	横山 宏	53	46	99	8	91
8	佃 浩一郎	46	61	107	14	93
9	守田 忠正	52	52	104	10	94
10	南 典文	53	61	114	19	95

NP ②兼清 ⑰赤崎 DC ⑧佃 ドラ短 前田

発行所 光市医師会
TEL (0833) 72-2234
発行日 令和3年11月30日
発行者 廣田 修
編集者 広報担当
印刷所 光市光井一丁目 15 番 20 号
中村印刷株式会社